

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで

平成 29 年度 事業報告書

I. 法人の概況

1. 設立年月日

昭和 28 年 1 月 20 日設立

2. 定款に定める目的

本公益財団法人は、医療機関及び介護・福祉関連事業の運営を通して、地域が必要としている医療及び介護・福祉の機会確保に寄与すると共に、これらの質の向上に資する事業を展開し、地域住民の健康保持増進並びに社会福祉の向上に貢献することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① 救急医療及び地域に不可欠な医療を提供する事業
- ② がん治療等、高度先進医療を提供する事業
- ③ 胸部疾患に関する事業
- ④ 予防医療活動並びに健康増進を啓蒙する事業
- ⑤ 訪問診療・訪問看護・訪問介護を提供する事業
- ⑥ 通所リハビリテーション・ヘルパー事業
- ⑦ 老人及び障害者等へ介護・療養の環境を提供する事業
- ⑧ 保健・医療・福祉に関わる専門職の資質向上を支援する事業
- ⑨ 医師及び看護師その他医療従事者の育成事業
- ⑩ その他本法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

福島県 保健福祉部 地域医療課

5. 主たる事務所

福島県西白河郡矢吹町本町 216 番地

6. 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理 事 長	会田 征彦	常 勤	代表理事・院長
専 務 理 事	会田 美代子	常 勤	職務執行理事・事務統括
常 務 理 事	影山 敏男	常 勤	職務執行理事・事務統括
理 事	小池 荘介	常 勤	副院長
理 事	竹田 秀	非常勤	(一財)竹田健康財団 理事長
理 事	星 北斗	非常勤	(公財)星総合病院 理事長
理 事	飯田 雄大	非常勤	稲志法律事務所 弁護士
監 事	三部 吉久	非常勤	三部会計事務所 税理士
監 事	加藤 栄一	非常勤	加藤栄一事務所 司法書士

評 議 員	今泉 正規	非常勤	(学法)今泉学園 理事長
評 議 員	岡崎 憲一郎	非常勤	元 矢吹町 中畑郵便局長
評 議 員	滝田 康雄	非常勤	㈱恒和薬品 代表取締役
評 議 員	坂本 忠雄	非常勤	元白河市立 五箇小校長
評 議 員	水戸 勘十	非常勤	㈱未来制御 代表取締役
評 議 員	橋本 秀也	非常勤	伸和建设㈱ 代表取締役

7. 職員に関する事項

○平成30年3月31日現在の職員数は次の通りである。

- ・総職員数 347名 (前期末日増減 +9名)
- ・常勤職員 255名 (平均年齢 40.1歳・平均勤続年数 8.1年)
 - 男 性 82名 (前期末日増減 +5名) 平均年齢 39.2歳
 - 女 性 173名 (前期末日増減 -1名) 平均年齢 40.6歳
- 常勤内訳：理事2名・医師9名・看護師62名・准看護師35名
 - 介護支援専門員4名・介護福祉士28名・ヘルパー9名
 - 看護助手2名・薬剤師4名・臨床検査技師8名
 - 臨床放射線技師5名・理学療法士16名・作業療法士12名
 - 言語聴覚士5名・臨床工学技士6名・管理栄養士4名
 - 医療ソーシャルワーカー3名・医療事務13名
 - 一般事務21名・ボイラー技士2名・運転手2名
 - その他補助者3名

・非常勤職員 92 名（前期末日増減 +8 名）

非常勤内訳：医師 59 名・看護師 5 名・准看護師 4 名・介護福祉士 4 名

ヘルパー 5 名・看護助手 2 名・臨床検査技師 1 名

作業療法士 1 名・医療事務 3 名・一般事務 3 名

ボイラー技士 1 名・運転手 3 名・その他補助者 1 名

8. 許認可に関する事項

当事業年度において、定款変更・許認可に関する変更等はない。

II 事業の状況

1. 事業概況

平成 29 年度を顧みると、北朝鮮がミサイル発射実験を繰り返し日本の排他的経済水域内に落下、日常的に Jアラートが発生する日々となっていたが、平昌オリンピックから南北朝鮮の雪解けが始まり、緊張緩和の様子が見え始めている。このような世界情勢の中で、我が国は、森友学園問題、加計学園問題で国会が空転して重要な案件も決められない状態にある。

経済活動は、欧米を中心とした世界景気の緩やかな回復に伴い、設備投資や輸出が持ち直し緩やかな景気回復が続いている。日経平均株価もスタート時は 2 万円を割っていたが、2 万 2 千円を上回る高水準に戻ってきた。しかし、景気の改善を反映した面もあるが少子化による人口減少という構造的な要因もあり、人手不足は一段と深刻な問題であり、当院でもスタッフの確保には苦慮している。当地域でも外国からの人材確保に努めている企業も一部では見受けられる。

福島県は、東日本大震災が発生して 7 年が過ぎた。ピーク時で約 63,000 人居た県外への避難者の方々も現在は 34,000 人（県内で避難されている方もたくさんおられる）となり、避難指示が出ていた各地も「帰還困難区域」を除き徐々に解除され、地元に戻るための準備を始めている現況はあるがまだまだ厳しいのが現状である。

本年は、当院の創業 70 周年の次の節目の 100 年を目指す初年度として基本目標に 5 項目を掲げてスタートしたが、おかげ様で全般的に順調に推移している。

東京医科大学と西白河市町村とで結んでいただいている寄附講座も、4 年間の更新契約が締結され充実した医療を引き続き続けることが可能となった。

さらに、念願だった麻酔科の常勤の医師を招聘でき、外科の手術、整形外科の手術がスムーズに行われている。診療科目では、地域住民の希望であった耳鼻咽喉科の医師も招聘し同科を開設した。

30 年度は、診療/介護/障害福祉サービス報酬のトリプル改定が実施され、第 7 次医

療計画もスタートする。少子化が進むこれからの時代に、当院が今まで歩んで来た方向に間違いは無く、今後も引き続き地域住民のために歩むことを再認識した一年であった。

収支状況は、昨年比増収増益であったが、医療人のさらなる確保がこれからの課題と感じた一年でもあった。

2. 部門別事業報告

① 法人本部

当法人は平成 25 年 4 月に財団法人から公益財団法人へと移行し 5 年目を迎えた。平成 28 年 3 月より法人の組織強化に向けて再構築を図り、今年度は将来構想プロジェクトを立上げ定期的な検討会を実施した。また、3 月には公益財団法人移行後初めて立入検査を受け、概ね良好と講評を得ることが出来た。

人事・教育面では、働きがいのある職場環境の整備に向けて、継続的に職員に対するストレスチェックや職員満足度調査を実施した。職員満足度調査においては、全項目前年度を上回る評価となり、特に「職場について」の項目は満足度がより高い評価であった。資格取得を支援する制度も定着し、ICLS 認定者 10 名、インジェクショントレーナー等取得と職員の意欲向上につながっている。

また、病棟勤務職員の負担軽減と勤務形態の多様化を図るため二交替制勤務の導入を検討し、平成 30 年 2 月より 5 病棟から実施した。

② 本 院

医療事業の診療実績としては、病床稼働の入院患者数の目標 1 日平均 150 名に対し 150.9 名と目標達成し、1 人 1 日平均単価は、前年比 586 円増の 31,089 円となった。また、1 日平均外来患者数の目標 205 名に対し、205.4 名、1 人 1 日平均単価は前年比 664 円増の 10,310 円となった。

医療安全対策では、「KYT」の取組みを強化した。事務部を含む全職員で事例検討を実施し、多職種協働の視点からリスクに対する意識を高めた。

患者満足度の向上に向けて患者満足度調査を今年度も入院部門・外来部門実施した。外来分門に関しては外部委託を行い、調査の結果全国平均を上回る評価を得られた。質の向上に関しては委員会や各部署職員が意欲的に取組み、63 演題の質改善報告がされ、平成 30 年 5 月に第 2 回質改善報告会を開催予定である。

耳鼻咽喉科開設に伴う医療機器購入や高周波手術装置等の更新、マニュアルの見直し等医療サービスの提供体制の再構築を図り、質の高いサービスの向上及び改善を行った。

・健診センター

今年度は、人間ドックの利用者増加に伴う活動を積極的に取り組んだ。一般健診から人間ドックへ営業活動及び矢吹町等住民の受診者の増加により、人間ドックは前年比169名増の1,052名、一般健診は前年比43名減の6,552名、合計前年比126名増の7,604名となった。また、生活習慣病による死亡率が高い福島県では企業や住民の予防医学に関心が高まり、特定保健指導件数も前年度比57件増、その他脳ドック、子宮がん検診、乳がん検診等も増加傾向にある。

・血液透析センター

年間の延透析患者数は、目標9,500名に対し592名増の10,092名と目標を達成した。年間1日平均透析患者数は64.5名で、外来透析患者数が前年比4.6名増の52.4名、入院透析患者数が前年比0.6名減の12.1名となった。他院からの血液透析導入の紹介患者の増加により、透析患者数の増加につながった。

③ すみれ訪問看護ステーション

4月と5月に新人1名ずつ入職、8月より育児休暇1名があり、看護師は3名体制で訪問してきた。リハビリは5名体制で2月より専従が2名に増えた。実人数平均は81.2名で3.4%減少した。一日あたりの訪問件数は看護師が8.8件で、リハビリが9.7件であった。

在宅での療養が継続できる為の支援として、在宅療養中の患者・家族会を偶数月に5回開催し、家族の介護による精神的ケアや介護指導、介護者同士の交流会を開催してきた。患者家族からは「介護をして大変なのは自分だけではない。介護者同士で話しをすることにより、精神的に役になった」との声も聞かれ、介護者同士で連絡を取りあうようになった家族もいた。

また、地域包括ケアシステム推進により終末期医療の在り方が重要となってきた為、在宅で終末期を迎える方への支援として、ACPについて研修し支援してきた。

更に、看護学生の実習生を2つの学校から3ヶ月間で9人受け入れ、一緒に勉強しながら指導してきて、訪問看護の重要性を理解してもらった。

④ すみれ介護相談センター

ケアマネジャー4名体制。5月に新人1名入職と1名退職で、引継ぎ作業の大変さはあったが、月平均112.5名で昨年とほぼ変わらず。新規利用者は59名で12%減少し、終了利用者数は39名で11%増加した。癌末期や重症な利用者の依頼が10数名おり、アセスメントや契約まで実施したが亡くなったり入院した為、プラン数にはならなかったケースがあった。ケアマネジャー1人当たり平均28.1名を担当できた。また、集中減算対象サービスに当院の訪問看護ステーションと会田通所リハビリテーションが含ま

れる為、積極的に両事業所への紹介できず、調整が難しかった為、思うように新規利用者が増やせなかった。

⑤ 会田病院ヘルパーサービス

4月に病欠1名、8月に訪問制限1名あり、登録換算数2.6人で業務を行ってきたが、12月に1名退職し登録が困難になる為、1月よりヘルパーを0.5名移動し常勤1.5名、登録ヘルパー3名体制で対応してきた為、やむをえず利用者5名を他の事業所に移動依頼した。その為総訪問数が減少し、新規利用者数は昨年度より約36.8%減少、終了者数は昨年度より約20.0%増加であった。1月より徐々に訪問件数が増加してきている。上記状況の中、可能な限り朝、昼、夕の身体介護等の対応を引き受け、効率の良い訪問介護を提供できるように考えて対応してきた。

在宅での介護で、ヘルパー業務は排泄介助や入浴介助等家族が一番困る所なので、在宅介護患者・家族会の開催に意欲的に参加し、介護の大変さ等の話を聞きながら、家族の支援をしてきた。

⑥ 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

医師数が4名（常勤2名・非常勤2名）昨年より1名減で、訪問診療と居宅療養管理指導を行ってきた。居宅療養管理指導を行った人数は、月平均は45.8名と0.9%減となった。新規利用者は平均で2.1名に対して、終了者は平均3.1名と多く減となっている。理由としては、病状の悪化で入院、永眠、施設入所等で減ってしまった状況である。又、自宅での看取り希望患者は6名で、看取りに出向く医師の問題があったが、日中の看取りだった為医師の協力を得て対応できた。

⑦ 会田通所リハビリテーション

職員数は介護職10名（12月から0.5名ヘルパー事業所へ兼務）とリハビリ4.6名でサービスを提供してきた。一日平均利用者数は34.6名で、総利用者数は昨年より8.5%の増加となった。

12月から機械浴を導入したことで、介護度の高い利用者が安全に入浴できるようになり、また、介護職の介護負担軽減につながった。

更に、8月から短時間リハビリ（1.5時間でリハビリのみを行う送迎付きのサービス）を開始し、医療の外来リハビリ終了者に向けてのサービスを開始した。短時間リハビリは順調に増え、現在は月曜日から金曜日までの利用で平均5人ほどの利用者が確保できた。

3. 収 支 報 告

平成 29 年度医業収益は、前年比+167 百万円で 6.6%増加した。これに対し、医業費用は、前年比+126 百万円の 4.8%増加となった。

補助金収入は、昨年度より震災後の医師確保のための補助金が打ち切りとなり本年度の補助金収入は 53 百万円で前年比 2 百万円減少した。その結果、経常外損益の増減額を合わせた一般正味財産増減額は対前年比 35 百万円増の 82 百万円を計上することができ、増収増益決算となった。

収益面では、外来患者数が対前年比 104.0%、入院患者総数も対前年比 103.1%と順調に推移し、入院単価も手術件数の増加、リハ関連の充実により上昇した。

また、透析センターの患者数の増加、健診センター利用者・人間ドックの利用者の増加も収益確保に大きく貢献した。一方、医業費用の方は、外来・入院患者の増加に伴い人件費・医薬品・診療材料費も増加したが収入増加率の範囲内に抑えることができた。

在宅介護事業部門においては、介護職員が思うように確保できず、人員配置に苦労はあったが大きな落ち込みなく推移し、きめ細かい手厚いケア対応により部門により多少の差はあったが法人全体の収益確保に大いに貢献した。

4. 重要な契約に関する事項

当事業年度において

(1) 長期借入金契約		
・市中銀行より設備資金の借換え	1 件	100,000,000 円
(2) 重要な資産の売買契約		
・非常用自家発電機		15,282,000 円
・超音波診断装置購入		12,500,000 円
・PACS モニター本体		6,700,000 円
・高周波手術装置		6,642,000 円
(3) 重要な工事の発注契約		
・該当なし		

5. 役員会等に関する事項

本年度の理事会・評議員会等の開催状況は、次の通りである。

(1) 理事会

○ 定 時

- ① 開催日 平成 29 年 5 月 17 日 (水)
- ② 議決事項
 - 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 平成 28 年度決算報告承認の件
 - 第 3 号議案 評議員会招集の件
 - 第 4 号議案 任期満了に伴う理事・監事推薦候補者選任の件
 - 第 5 号議案 任期満了に伴う評議員推薦候補者選任の件
- ③ 報告事項
 - ・代表理事等の職務執行状況の報告について

○ 臨 時

- ① 開催日 平成 29 年 6 月 9 日 (金)
- ② 議決事項
 - 第 1 号議案 代表理事の選任の件
 - 第 2 号議案 専務理事・常務理事の選任の件

○ 臨 時

- ① 開催日 平成 29 年 11 月 13 日 (月)
- ② 議 題
 - 職務執行状況の報告について
 - ・平成 29 年度上期事業報告の件
 - ・平成 29 年度中間決算報告の件

○定 時

- ① 開催日 平成 30 年 3 月 30 日 (金)
- ② 議決事項
 - 第 1 号議案 平成 29 年度補正予算案承認の件
 - 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画案承認の件
 - 第 3 号議案 平成 30 年度収支予算案承認の件
 - 第 4 号議案 平成 30 年度借入限度額案承認の件
- ③ 報告事項
 - ・代表理事等の職務執行状況の報告

(2) 評 議 員 会

○ 定 時

- ① 開催日 平成 29 年 6 月 9 日 (金)
- ② 議決事項
 - 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 平成 28 年度決算報告承認の件
 - 第 3 号議案 任期満了に伴う理事・監事 選任の件
 - 第 4 号議案 任期満了に伴う評議員 選任の件
- ③ 報告事項
 - ・ 平成 29 年度事業計画の件について
 - ・ 平成 29 年度収支予算の件について

(3) 業務監査・会計監査に関する会議

- ① 平成 28 年度 監事監査
 - 開催日 平成 29 年 5 月 11 日 (木)、平成 29 年 5 月 15 日 (月)
 - 内 容 業務監査、会計監査など

(4) その他

常勤理事による経営会議を毎月第 4 月曜日に開催した

6. 診 療 報 告

○平成 29 年度の診療患者数は、次の通りである。

本 院

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比(%)
外来患者総数	60,392 名	58,043 名	104.0%
一日平均	205.4 名	197.4 名	104.0%
新患者数	8,043 名	7,980 名	100.8%
入院患者総数	55,079 名	53,416 名	103.1%
一日平均	150.9 名	146.3 名	103.1%
新入院患者数	1,239 名	1,154 名	107.4%
退院患者数	1,252 名	1,142 名	109.6%

すみれ訪問看護ステーション

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
利用者延人数	974 名	1,006 名	96.8%
訪問延回数	5,358 回	5,564 回	96.3%

すみれ介護相談センター

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
利用者延人数	1,350 名	1,329 名	101.6%
訪問調査	72 名	69 名	104.3%

ヘルパーサービス

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
利用者人数	224 名	287 名	78.0%
訪問延回数	3,448 回	4,476 回	77.0%

会田病院指定居宅療養管理指導事業所

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
利用者延数	550 名	662 名	83.1%
一日当たり利用者数	1.90 回	2.24 回	84.8%

会田通所リハビリテーション

	平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
延利用者数	10,178 名	9,368 名	108.6%
一日平均利用者数	34.6 名	31.8 名	108.8%

○本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、以下の通りである。

品 名	台数	部 署
ホータブルマルチスコープ FP-7RBS2	1	臨床工学科
ニューステップ T4r BG9NST4R	1	リハビリテーション科
脳波計 EEG-1214	1	検査科
ERBE 高周波手術装置 VI0300D	1	手術室

薬用冷蔵ショーケース MPR-514R-PJ	1	薬剤科
レックプレス GX-310	1	リハビリテーション科
ローイング GX-300	1	リハビリテーション科
EIZO 製 Radiforce RS110 (PACS 用モニター)	1	手術室
GE 超音波診断装置 LOGIQ E9 eithXDclear 2.0	1	検査科
デジタルスケールヘッド アルファネシリーズ KA-8341A	2	血液透析センター
アテストオートリターター 一般高圧蒸気滅菌用	1	中央材料室
アテストオートリターター 生物学的インジケータ EO ガス滅菌用	1	中央材料室
徒手筋力計モビィ MT-100B ブルー	2	リハビリテーション科
汎用人工呼吸器 Servo S	1	臨床工学科
Eizo 製 Radiforce RS110 (PACS 用モニター)	1	耳鼻咽喉科
ライラック浴槽 LA-560MR	1	会田通所リハビリテーション
入浴用車椅子 LA-560MR 用	1	会田通所リハビリテーション
ヘッドサイトモニタ DS-8100N	1	臨床工学科
ホルタ記録器 FM-960	1	検査科
電動ヘッド カリストエール KA-33121J	8	3 病棟・5 病棟
テルフィート 栄養ポンプ FE-201C	2	栄養科
透析監視装置 TR-3300M	1	血液透析センター
透析監視装置 TR-3300S	1	血液透析センター
耳鼻咽喉科ユニットステラ FU-STE	1	耳鼻咽喉科
エコノミー内視鏡保管庫 ENN-04	1	耳鼻咽喉科
顕微鏡ファーストスコープ 07 型 MFU-07CH	1	耳鼻咽喉科

治療椅子 FTC-1-C	1	耳鼻咽喉科
ネブライザー 華 FN-N3000S-33	1	耳鼻咽喉科
オーディオメータ AA-M1B	1	耳鼻咽喉科
聴力検査室 AT-64A	1	耳鼻咽喉科
内視鏡洗浄消毒器 ESPAL-C	1	耳鼻咽喉科
フレンチェル赤外線眼鏡 FV-D70A	1	耳鼻咽喉科
ファーストコアキョレータ 100 型	1	耳鼻咽喉科
LED ヘッドライトステラビュー	1	耳鼻咽喉科
ドクターメモリー プーツセット B31100725	3	通所リハビリテーション
耳鼻咽喉内視鏡システム VISERA ELITE OTV-S190	1	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉スコープ ENF-V3	1	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉スコープ ENF-VT2	1	耳鼻咽喉科

7. 医 師 人 事 報 告

○平成 29 年度の医師の異動は、次の通りである。

【着 任】

平成 29 年	4 月 1 日	内 科	松 波 幸 寿
	9 月 1 日	内 科	奈 良 幸 雄
	10 月 1 日	内 科	朝 井 靖 二
	11 月 1 日	内 科	牧 野 義 文
平成 30 年	1 月 1 日	耳鼻咽喉科	加倉井 慎 一

【退 職】

平成 29 年	9 月 30 日	内 科	松 波 幸 寿
	11 月 30 日	内 科	奈 良 幸 雄
平成 30 年	3 月 31 日	内 科	朝 井 靖 二

8. 公 益 事 業 報 告

(ア) 育英事業

奨学金交付状況

○平成 29 年度の奨学生は、次の通りである。

- ・国際メディカルテクノロジー専門学校
看護学科通信課程 1 名
- ・白河准看護学院 2 名
- ・郡山看護専門学校 1 名
- ・那須看護専門学校 1 名
- ・仁愛高等学校 看護専攻科 1 名
- ・東北薬科大学 薬学部 1 名
- ・千葉科学大学 看護学部 1 名

(イ) 公衆衛生協力事業

○社会福祉法人へ診療協力を実施した。

- ・社会福祉法人 恵愛福祉会 特別養護老人ホーム 寿光園
- ・社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 大信 聖・虹の郷

○矢吹町内小中高等学校 6 校、幼稚園・保育園 4 施設の内科検診、眼科健診を実施した。

○産業医として近隣市町村各事業所の産業安全衛生活動を実施した。

- ・健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施（15 事業所）
- ・管理栄養士による特定保健指導を実施（3 事業所）

○人間ドック及び各種健診・保健指導を下記の通り実施した。

健 診 内 容	平成 29 年 度	平成 28 年 度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	3 名	3 名	100.0%
日本病院会指定による一日人間ドック	1,049 名	880 名	119.2%
一般事業所健診	6,431 名	6,595 名	97.5%

白河市、西白河郡住民健診	121名	241名	50.2%
計	7,604名	7,478名	101.7%

特定保健指導	192名	135名	142.2%
--------	------	------	--------

○献血事業協力のため 福島県赤十字血液センター及び矢吹町と協議し、年に2回採血協力を実施した。

実施日 平成29年9月1日、平成30年2月26日

○各種イベントを実施し地域住民に「看護・救急・介護」の啓蒙をした。

5月12日	「看護の日」イベント（緑風園）	52名参加
9月8日	「救急の日」イベント（文化センター）	100名参加
11月18日	「介護の日」イベント（正面玄関周辺）	156名参加

○地域住民を対象とする健康教室等を開催した。

・糖尿病教室

開催日	内容	参加者
平成29年 4月13日	糖尿病（概論）	4名
4月27日	糖尿病（概論）	5名
5月11日	糖尿病（治療編）	5名
5月25日	糖尿病（概論）	3名
6月8日	糖尿病（治療編）	3名
6月22日	糖尿病（治療編）	3名
7月13日	糖尿病（合併症編）	7名
7月27日	糖尿病（合併症編）	4名
8月10日	糖尿病（食事療法）	5名
8月24日	糖尿病（食事療法）	1名
9月14日	糖尿病（検査編）	7名
9月28日	糖尿病（検査編）	9名
10月26日	糖尿病（運動療法）	13名
11月9日	糖尿病（運動療法）	9名
12月14日	糖尿病（薬物療法）	4名
12月28日	対象患者不在の為中止	0名
平成30年 1月11・25日	インフルエンザ流行の為中止	0名
2月8日	糖尿病（フットケア）	6名

2月22日	糖尿病（フットケア）	3名
3月8日	対象患者不在の為中止	0名
3月22日	糖尿病（シックデイ 低血糖）	6名
	合 計	97名

※ 延べ参加人数 97名 開催回数 18回 平均 5.4名

・呼吸器勉強会

期 日	内 容	参加者
平成 29 年 6 月 21 日	COPDの治療を助けるお薬	29名
平成 29 年 9 月 20 日	COPDの食事療法	28名
平成 29 年 12 月 13 日	肺炎を学ぼう！肺炎と運動との 関連性	18名
平成 30 年 2 月 15 日	知ろう、肺癌のこと (肺がんの最新情報)	30名

※ 延べ参加人数 105名 開催回数 4回 平均 26.3名

○一般の職場体験、研修を受入れた

期 日	職場体験・研修内容	参加者	主 催
6月20・21日	職場体験	4名	光南高校
6月28・29日	職場体験	7名	光南高校
7月11～28日	在宅看護論実習	2名	国際医療看護福祉 大学
7月28日	看護一日体験	8名	看護協会
8月23～9月1日	在宅看護論実習	7名	白河厚生看護学院
9月12日～22日	在宅看護論実習	3名	白河厚生看護学院
9月12日	職場体験	8名	矢吹中学校
9月13・14・15日	職場体験	4名	岩瀬農業高等学校
9月20～22日	救命士研修	1名	白河消防署
9月27～29日	救命士研修	1名	白河消防署
10月4～6日	救命士研修	1名	白河消防署
10月11～13日	救命士研修	1名	白河消防署
11月14日	救急隊長研修	2名	白河消防署
11月21日	救急隊長研修	2名	白河消防署

○地域の健康増進、各種行事等へのスタッフ派遣、協力、交流会実施した

期 日	派遣・協力・交流会	参 加 者
5月16・17・18日	グリーンアカデミー救護班	各1名 計3名
5月23日	光南高校内科検診	2名
5月23日	養護教員研修「応急手当について」	2名
5月24日	光南高校内科検診	2名
5月25日	光南高校内科検診	2名
6月18日	第4回会田病院地域医療連携会議	38名
7月10日	「心肺蘇生」 善郷小学校	3名
7月21・22日	矢吹ゴルフ倶楽部救護班	各1名計2名
8月5日	第1回高次脳機能障害患者・家族サロン	6名
8月8～10日	矢吹町・長野県三鷹市交流会	1名
8月18日	第6回在宅介護家族会	6名
10月7日	第2回高次脳機能障害患者・家族サロン	10名
10月9日	矢吹町「まちの保健室」	2名
10月20日	第7回在宅介護家族会	5名
10月25日	第5回会田病院地域医療連携会議	15名
11月4日	矢吹町「まちの保健室」	2名
12月2日	第3回高次脳機能障害患者・家族サロン	10名
12月15日	第8回在宅介護家族会	6名
平成30年2月3日	第4回高次脳機能障害患者・家族サロン	10名
2月16日	第9回在宅介護家族会	8名
2月28日	第5回会田病院地域医療連携会議	16名
3月6日	県南圏域連携会議	30名

(ウ) 研究研修事業

医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

・関連大学へ研究助成	2件	1,100,000 円
・関連各種学会へ事業援助	2件	330,000 円

○消防署救急医療実習受入状況

実 習 内 容	人 数
白河地方広域市町村圏消防本部 救急救命士資格取得後就業前の病院研修	4 名
白河地方広域市町村圏消防本部 救急隊長病院研修	4 名

○看護学生等の受入状況

職 種	学 校 名	人 数
看護学生	国際医療看護福祉大学	2名
	白河厚生総合病院附属高等看護学院	7名
	岩瀬農業高等学校（インターンシップ）	4名
薬学生	奥羽大学	1名
リハビリテーション科学生	仙台医健専門学校	3名
	国際医療看護福祉大学	3名
	東北文化学園	1名
	山形医療技術専門学校	1名
	郡山健康科学専門学校	4名
	群馬パース大学	2名
栄養士	郡山女子大学	1名

○ 院内外研究発表（看護部）

院内研究発表

- ・演題1 療養患者の口腔ケア
～口臭改善を目指して～ 3病棟 添田 沙織
- ・演題2 昼夜逆転に対する関わり
～サーカディアンリズムのリセットに着眼して～ 4病棟 長谷部美桜
- ・演題3 自動体位変換機能付きマットレスの除圧効果 5病棟 皆川 一寿
- ・演題4 回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰患者の現状 6病棟 荒井 一恵
- ・演題5 安心して上部内視鏡を受けるために
～パンフレットを用いて～ 外 来 並木 満

- ・演題6 訪問看護師と病棟看護師の連携による退院指導の有効性
～自宅で継続看護が必要な患者・家族にアンケート調査を実施して～
訪問看護 佐藤 洋子
- ・演題7 短期間のディケアの利用を通じ、
在宅生活への自信に繋がった事例
作業療法士 安藤 千華
- ・演題8 失語症・短腸症候群を呈した症例
言語聴覚士 吾妻 圭太

院外研究発表

県南支部主催看護研究発表会（11月25日）

- ・自動体位変換機能付きマットレスの除圧効果
発表者 皆川一寿
- ・回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰患者の現状
発表者 荒井一恵

○ 教育研修事業

階層別研修を実施した

（法人人事関係）

日付	研修名	参加人数
平成29年6月24日	中堅層研修会	17名
平成29年7月3日	中途採用者オリエンテーション	9名
平成29年7月8日	リーダー研修会	15名
平成29年7月29日	監督職層研修会	27名
平成29年9月2日	管理職層研修会	16名
平成29年10月2日	中途採用者オリエンテーション	2名
平成30年1月9日	中途採用者オリエンテーション	3名
平成30年3月29日	新入職員オリエンテーション	18名
平成30年3月31日	新入職員研修	26名

医療安全

平成 19 年より医療安全の質を高めるために医療安全リスクマネージャー研修会に毎年 1 名推薦し、平成 29 年現時点では 12 名の参加となる。また、平成 28 年 5 月より医療安全リスクマネージャーとして看護師 1 名を専任より専従とした

医療安全研修（院外）

開催日	テ ー マ	参加者
5 月 13 日	「医療安全管理者養成研修」アドバンスドコース 「院内医療事故調査の進め方ー事故発生から報告書作成まで～	1 名
5 月 28 日	基礎編修了者の為の特別講座『事例検討・セルフメディエーション編』	1 名
6 月 9 日～ 10 日	医療対話推進者養成セミナー基礎編（聴講）	1 名
7 月 12 日	看護協会 「医療事故調査制度における看護記録の重要性」	1 名
8 月 19 日	高齢者介護における皮膚裂傷（スキンテア）の予防・スキンケアのポイント	1 名
9 月 21 日	看護協会 医療安全管理者交流会	1 名
11 月 18 日	看護協会 医療安全推進週間事業『多職種で取り組む転倒・転落防止対策』	5 名
11 月 18 日	平成 29 年度福島県医師会医療安全推進研修会	2 名
11 月 21 日	看護協会 ヒューマンエラー発生のメカニズムとその対策	1 名
12 月 21 日	平成 29 年度医療研修会（一般社団法人福島県病院協会主催）	1 名
2 月 1 日	平成 29 年度県南地域医療安全ネットワーク会議	2 名
2 月 17 日	福島医療の質・安全フォーラム	2 名
3 月 23 日	医療対話推進者養成セミナー修了者継続研修 患者相談における倫理的側面からの対応	1 名

○感染対策

ICS 3 名（平成 21 年、25 年、28 年取得）

月 1 回の感染対策委員会、感染リンク部会、週 1 回感染対策チーム（ICT）で感染に対する指導、教育を行っている。また、今年度は、白河保健所、県感染対策担当者の協力を得、新型インフルエンザ実働訓練を実施した。

感染対策研修（院内上期）

期 日	研 修 内 容	参加者 (看護)	その他 (職員)	合 計
5月23日	うつらない、うつさないための感染対策の基礎知識	65名	64名	129名
5月24日	職業感染対策の具体的な方法	55名	47名	102名
5月25日	インフルエンザ対策	71名	53名	124名
5月26日	医療従事者のワクチンプログラム	34名	38名	72名

感染対策研修（院内下期）

期 日	研 修 内 容	参加者(看護)	その他(職員)	合 計
2月13日	新型インフルエンザ実働訓練DVD鑑賞	43名	58名	101名
2月15日	同上	40名	32名	72名
2月16日	同上	22名	45名	67名
3月8日	同上	20名	14名	34名

感染対策研修（院外）

開催日	内 容	参 加 者
6月19日	新型インフルエンザなど対象における入院協力機関の担当者情報交換	1名
6月19日	すぐ活かせる感染予防の実際	6名
10月27日	組織で取り組む感染管理（マネジメント編）	1名

院内企画研修（全職員対象）

開催日	テーマ	参加人数	割合
5月16日	平成28年度当院の医療安全状況 (インシデント報告書統計より)	看護部 17人 他職員 43人	
6月8日	輸液のヒヤリハットを減らすために	看護部 39人 他職員 15人	
6月27日～ 6月29日 フォローアップ	第1回医療安全研修 医療安全の考え方 事故防止の基本的な心構え 事故発生時の対応	看護部 152人 他職員 122人	87.8% ↓ 96.6%

8月30日	問題解決法の手法を用いた現場改善法	看護部 13人 他職員 12人	
10月24日～ 10月26日 フォローアップ	第2回医療安全研修 「STOP! 転倒・転落」	看護部 149人 他職員 130人	92.7% ↓ 97.8%

○BLS研修

開催回数（7月から2回/月実施）	参加者
18回	251人（全職員の98.9%参加）

○ICLS研修

開催日	参加者
2月3日、4日	10名（各5名）

○認知症研修（認知症ケア加算2含む）

開催日	内容	参加者
6月28・29日	認知症高齢者の看護の実践に必要な知識	4名
6月30日	県南認知症セミナー	1名
8月3・4・10日	看護職員認知症対応力向上研修	1名
8月22日	認知症の患者との想いに寄り添うケア	8名

○会田病院認知症キャラバン・メイト活動内容

開催日	内容	参加者
5月17日	認知症サポーター養成講座	57名（院内26名院外31名）
11月25日	認知症サポーター養成講座	16名（院内5名院外11名）

○看護必要度評価者院内指導者研修

開催日	研修内容	参加者
6月18日	看護必要度評価者院内指導者研修	2名

○看護部教育委員会主催 看護部院内研修

開催日	研修内容	参加者
4月14日	災害時におけるトリアージ研修	71名
7月25・27・28日	臨床倫理入門	115名
9月27日	前期伝達講習会	30名
3月9日	後期伝達講習会	39名
3月19日	情報セキュリティに関する勉強会	65名
3月22日	看護必要度	54名
平成29年2月23・26 ・28日	(認知症事例検討) 認知症のアセスメントとケア	93名
3月21日24日	新人を迎えるにあたって	2名

○平成29年度 新人・プリセプター対象研修

開催日	テーマ	参加者
4月4日	看護部オリエンテーション	11名
4月5日	医療安全・感染対策	12名
4月7日	基本的ケア	11名
4月7日	排泄ケア	10名
4月10日	トランスファー・嚥下障害	14名
4月10日	褥瘡対策	12名
4月11日	静脈血採血	13名
4月12日	経管栄養	11名
4月12日	血液ガス機械の使い方	12名
4月13日	ME機器・人工呼吸器	11名
4月14日	吸引	15名
4月24日	固定チームナーシング・看護記録	11名
5月8日	輸液ポンプ・シリンジポンプ	8名
5月10日	採血・静脈注射	11名
5月17日	オーダーリング・各所属説明(栄養科・薬剤科・検査科・医事課)	14名
6月1日	救急時の看護	11名
6月1日	当院の医療・退院調整	9名
6月21日	心電図	9名
6月21日	夜勤導入に向けて	7名

7月 5日	第1回プリセプターフォローアップ（新卒）	7名
7月 5日	第1回プリセプターフォローアップ（新卒）	4名
7月 19日	第1回新人フォローアップ（新卒）	7名
7月 19日	第1回新人フォローアップ（既卒）	7名
9月 6日	第2回プリセプターフォローアップ（新卒）	6名
10/1～11日	ローテーション研修	8名
10月 4日	第2回新人フォローアップ研修（既卒）	7名
10月 18日	第2回新人フォローアップ研修（新卒）	7名
12月 2日	多重課題研修	7名
12月 7日	第3回プリセプターフォローアップ（既卒）	2名
2月 14日	第3回プリセプターフォローアップ（新卒）	7名
2月 21日	第3回新人フォローアップ研修（新卒）	7名
	合 計	314名

○新人eラーニング研修

開催日	テーマ	参加者
4月 10日	褥瘡を理解する	12名
4月 11日	静脈血採血実施の安全な手順	13名
4月 14日	安全な吸引・排痰をおこなうための手技とコツ	15名
4月 19日	看護師資格は一生涯	12名
4月 24日	看護記録の書き方	11名
5月 8日	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱いとアラーム対応	8名
6月 21日	基礎から学ぶ人工呼吸器管理	11名
7月 19日	輸血の準備から実施、実施後の観察	15名
8月 16日	嚥下障害のある患者のための食事介助	14名
9月 20日	急変時の対応の実際	25名
10月 18日	バイタルサインの見方	10名
11月 15日	カテーテル関連尿路感染管理を身に着けよう	14名
12月 20日	多重課題を乗り越えるための優先順位の考え方	18名
1月 17日	心電図モニターとの付き合い方	21名
2月 21日	取り間違えてはいけない薬を知る	16名
3月 22日	死後のケア	17名
	合 計（延べ人数）	232名

○中堅 e-ラーニングラダーⅡ・Ⅲ

開催日	テーマ	参加者
4/1～4/30	呼吸器のフィジカルアセスメント	36名
5/1～5/31	ラダーとキャリア開発 ～クリニカルラダー・キャリアラダーを活用して～	18名
5/1～6/30	がん疼痛～痛みの評価と薬の使い方～	6名
6/1～6/30	重症患者の早期離床 ～退院後の QOL に関する諸問題から～	28名
6/30～7/31	排尿自立指導に役立つ 排尿ケアの質を高め、患者の QOL を高める適切な排尿ケア実践を学ぶ	22名
8/1～8/31	全診療科必見！糖尿病をもつ患者さんの”療養行動の実施に向けた理論”を活用したアプローチ	24名
9/29～10/31	廃用症候群、サルコペニア フレイルへの対応 ～患者さんの人生を左右する看護師にできるアプローチ～	21名
11/1～11/30	質の高い看護実践のためのがん化学療法の基本的理解とアセスメント	18名
12/1～12/31	苦手意識をなくそう！不整脈の特徴を正しく理解し、危険な不整脈に備える	27名
1/1～1/31	透析療法の知識・技術・患者マネジメント～安全で適切な透析療法を提供し、患者さんの社会生活を支えよう～	13名
2/1～2/28	根拠に基づく口腔ケアの実践～口腔ケアを医療として実践するために～	17名
3/1～3/31	ファシリテーションで人とのコミュニケーションを円滑に ～対話を促進する Hub になろう～	14名

○管理者 e-ラーニングラダーⅣ・Ⅴ

開催日	テーマ	参加者
4/11～5/10	管理職が抑えるべき診療報酬・介護報酬	13名
5/11～6/10	チーム医療とは？ ～チーム STEPPS :エビデンスに基づいたチーム医療	10名

5/1～6/30	ベッドコントロールの実践と入退院支援	2名
6/9～7/10	病院、施設、在宅の連携を強化する	12名
7/11～8/10	ストレスマネジメント・レジリエンスを鍛えてつくる、しなやかなこころ	12名
8/10～9/10	スタッフのやる気を引き出すマネジメントと組織のあり方 ～ティーチングとコーチングの使い分け～	10名
9/11～10/10	医療保険と介護保険を知る	7名
10/10～11/10	”リーダーシップ力”で組織の変革と発展につなげる	9名
12/11～1/10	ケースで学ぶリスクマネジメント	10名
1/11～2/10	訪問看護師の役割とその実際	9名
2/9～3/10	多職種連携 ～診療・ケアの質を高めるための多職種連携の知識とスキル～	9名
3/9～4/10	多職種連携の視点を獲得するケースカンファレンスのもち方	9名

-

○eーランニング研修（エイド）

開催日	研修内容	参加者
5月15・19日	看護補助者のための倫理・労働安全衛生の基礎知識理解	39名
7月18・20日	食事のお世話・洗面のお世話	38名
10月16・17日	環境整備・清潔のお世話・移動のお世話	36名
平成30年3月7・12・15日	認知症患者さんの理解	35名

○エイド・人・現任研修（院外）

開催日	研修内容	参加者
11月30日	介護補助者研修（白河厚生病院）	5名

○スキルアップ勉強会

開催日	研修内容	参加者
12月1・7日	貧血とは	11人
2月22日	貧血とは	5名

○患者サービスに関するイベント・ボランティア等
矢吹図書お話し会

平成 29 年度		内 容	参 加 者
4 月 26 日	3・6 病棟	手遊び・絵本	11 名
5 月 24 日	3・6 病棟	軽体操・絵本・民謡	15 名
6 月 28 日	3・6 病棟	指の体操・絵本・クイズ	14 名
7 月 26 日	3・6 病棟	手遊び・絵本	13 名
8 月 23 日	3・6 病棟	指の体操・絵本・クイズ	10 名
9 月 27 日	3・6 病棟	手遊び・絵本	5 名
10 月 25 日	3・6 病棟	指遊び・絵本	10 名
11 月 22 日	3・6 病棟	大きな絵本	10 名
12 月 20 日	3・6 病棟	紙芝居・指遊び	9 名
30 年 1 月 24 日	3・6 病棟	紙芝居	10 名
2 月 28 日	3・6 病棟	紙芝居・指遊び・体操	10 名
3 月 28 日	3・6 病棟	夢芝居・指遊び	10 名

病棟レクレーション

5 月 10 日	3 病棟	節句祭り	12 名
5 月 10 日	6 病棟	運動会	23 名
7 月 26 日	3 病棟	夏祭り	17 名
8 月 9 日	6 病棟	夏祭り	26 名
9 月 13 日	6 病棟	敬老会	20 名
9 月 13 日	3 病棟	敬老会	15 名
12 月 6 日	6 病棟	クリスマス会	23 名
12 月 13 日	3 病棟	体操・歌・ゲーム	12 名
12 月 20 日	6 病棟	パンケーキ作り	20 名
30 年 1 月 5 日	6 病棟	お琴演奏	22 名
1 月 6 日	3 病棟	お琴演奏	6 名
2 月 3 日	3 病棟	節分	20 名
2 月 3 日	6 病棟	節分	22 名
3 月 7 日	3 病棟	ひな祭り	12 名
3 月 24 日	6 病棟	春祭り	18 名

(工) 救急医療活動

○救急医療に対し、救急告示病院として全日救急患者受け入れに対応した。

当地区病院群輪番制病院運営事業に第二次救急医療機関として、積極的に地域医療に協力した。

平成 29 年 救急搬送診療応需状況

	要請件数	うち応需件数	応需率
矢吹町	249 件	206 件	82.7 %
西白河郡 合計	549 件	400 件	72.9 %
総合計	781 件	542 件	69.4 %

9. 設備改修工事等報告

平成 29 年度に実施した工事は、以下の通りである。

- 厨房内壁修繕工事
- 厨房床塗装工事
- 介護事業部浴室手摺工事
- 病棟西側外壁塗装工事（進行中）
- 非常用発電機更新工事

10. 労使関係報告

- 平成 29 年 5 月 1 日より、支度金支給要綱改正した。
- 平成 29 年 12 月 1 日より、奨学金貸与規程改正した。
- 平成 30 年 2 月 1 日より、一部病棟に 2 交替制導入、これに伴う就業規則及び給与規程改正した。

11. 庶務事項報告

○防火避難訓練・防災訓練を次の通り実施した。

平成 29 年 6 月 21 日 (水) (防火部分訓練)
10 月 18 日 (水) (防火総合訓練・基礎訓練)

○平成 29 年度年度の当法人並びに職員に対する外部団体からの表彰は、次の通りである。

平成 29 年 5 月 17 日 平成 29 年度 矢吹町商工会
優良従業員表彰 小 磯 智 子

平成 29 年 12 月 21 日 平成 29 年度 永年勤続者表彰式

永年勤続表彰	20年	駒 橋 秀 行
永年勤続表彰	20年	駒 橋 優 美
永年勤続表彰	20年	酒 井 正 人
永年勤続表彰	20年	本 田 真 純
永年勤続表彰	20年	小 林 真由美
永年勤続表彰	10年	芳 賀 進
永年勤続表彰	10年	安 藤 麻由子
永年勤続表彰	10年	藤 田 亜由美
永年勤続表彰	10年	齋 藤 はるみ
永年勤続表彰	10年	熊 田 美季恵
永年勤続表彰	10年	鈴 木 典 子
永年勤続表彰	10年	荒 井 一 恵
永年勤続表彰	10年	常 松 美由喜
永年勤続表彰	10年	鈴 木 直 樹
永年勤続表彰	10年	大 槻 麻 衣
永年勤続表彰	10年	星 芳 恵
永年勤続表彰	10年	森 千 春

12. 主要記事

平成29年	4月 3日	新入職員入社式並びに辞令交付式
	4月 5日	消防立入検査（わかば寮）
	4月14日	災害時における「トリアージ研修会」
	4月17日	観桜会
	5月 1日	5月 辞令交付式
	5月 1日	ネパール留学生（アルバイト2名）採用
	5月 2日	戸倉蓉子女史 講演会 「患者さんに喜ばれる 病院づくり」
	5月11日	会計監査（現物照合）
	5月12日	「看護の日」イベント開催
	5月15日	監事監査
	5月17日	定例 理事会
	6月 9日	定例 評議員会・臨時理事会
	6月21日	「喫煙防止教室」町立矢吹中学校
	6月27日	「東北厚生局適時調査」
	6月28日	第4回会田病院地域医療連絡会議
	7月 3日	7月 辞令交付式
	7月19日	あいだメディカルセミナー
	7月22日	『会田びょういん夏祭り』開催
	7月26日	「高校生一日看護体験」
	8月 1日	陸上自衛隊富士学校地形研究訓練～2日
	8月 4日	平成29年度「会田病院キッズツアー」開催
	8月 5日	「第1回 高次脳機能障害患者・家族サロン」開催
	8月 5日	「矢吹町踊り流し」参加
	9月 4日	9月 辞令交付式
	9月 8日	「第24回 救急の日記念事業」開催
	9月23日	「会田メモリアルカップゴルフコンペ」開催
	10月 2日	10月 辞令交付式
	10月4～6日	白河消防署員教育実習
	10月 7日	「第2回 高次脳機能障害患者・家族サロン」開催
	10月11～13日	白河消防署員教育実習
	10月12日	県南保健所「平成29年度立入検査」
	10月18日	秋季総合自衛消防訓練実施（協力 矢吹消防署）
	10月23日	平成29年度 第1回病院モニター会議

	10月27日	「介護の日イベント」実施
	11月 2日	11月 辞令交付式
	11月13日	臨時 理事会
	11月15日	あいだメディカルセミナー
	11月21日	「救急隊長研修」白河広域市町村消防本部
	11月24日	「新型インフルエンザ病院実働訓練」実施
	12月 2日	「第3回 高次脳機能障害患者・家族サロン」開催
	12月21日	忘年会（交友会主催）
	12月21日	平成29年度 永年勤続者表彰式
平成30年	1月 5日	新年会・辞令交付式
	1月 9日	「耳鼻咽喉科」開設
	1月17日	あいだメディカルセミナー
	2月 2日	2月 辞令交付式
	2月 3日	「ICLS研修会」実施
	2月 3日	「第4回 高次脳機能障害患者・家族サロン」開催
	3月 2日	3月 辞令交付式
	3月 5日	平成29年度 第2回病院モニター会議
	3月 6日	高次機能障害県南圏連絡会議
	3月14日	公益認定等審議会「立入検査」
	3月14日	あいだメディカルセミナー
	3月27日	平成30年度 奨学生説明会
	3月29日	新入職員オリエンテーション
	3月30日	定例 理事会
	3月31日	平成30年度新入職員研修